JCI-TC182A

既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした調査・診断・補修に関する研究委員会
第2回幹事会 議事録(案)

日 時：2019年1月28日(月) 15:00～17:00

場 所：JCI 本部会議室

出席者：竹田委員長、十河顧問、濱崎幹事、山口幹事、位田幹事代理、江良幹事
戸口事務局

配布資料：(第3回WG1、WG2 合同会議と同一資料含む)

- 3-1 第2回WG1,2(合同)議事録(案)
- 3-2 第1回全体委員会 議事録
- 3-3 第1回幹事会議事録
- 3-4 補修工法の分類(表面含浸工)
- 3-5 補修工法の分類(表面被覆工)
- 3-6 補修工法の分類(下水道版)
- 3-7 補修工法の分類(ひび割れ補修工)
- 3-8 補修工法の分類(電気化学的防食工)
- 3-9 研究委員会報告資料 活動報告(2019年1月31日)
- 3-10-1 アンケート協力依頼
- 3-10-2 アンケート調査表(案)
- 3-11 WG3(手順書作成)活動報告

議事：

- ・WG1、WG2 合同で2回のWGを実施している。
- ・FSでの調査資料をブラッシュアップする形で検討を進めている。
- ・WG1では工法別にどのような技術があるのかを整理しており、今後は実際に工法を選ぶための具体的な情報を追記していく。
- ・その情報をWG2へ提供し、WG2で評価する。
- ・WG2では劣化機構、環境条件などによってどのような評価を行うかを検討する。
- ・WG1、WG2の成果をWG3で活用してもらう。その際、WG3としてどのような情報が必要かのリクエストがあるよい。
- ・WG3はWG1、WG2の検討結果をある程度想定し、独自で検討を進める。
- ・当面は田中幹事の代わりに位田幹事代理主導のもとWGを進める。
- ・予防保全の維持管理フローを提案しており、最終的には予防保全のための工法選定の手順を構築する。
- ・検討項目は補修技術だけでなく、調査診断技術も対象とする。
- ・維持管理計画の中に必ず初期診断が必要である。
- ・飛来塩分量、日当たり、温度・湿度、水かかりなどの環境条件を基に、定期点検で見ておくべきポイントを絞ることが可能となる。

- ・ 報告書作成のスケジュール。2019年12月にはドラフト第1弾。
- ・ 予防保全に関するアンケート調査の進捗報告。アンケートフォームのタタキ台を提示し、意見収集を行った。
- ・ アンケートを Web 版に移植し、動作確認を行ったうえで幹事に最終確認を依頼する。
- ・ 2019年2月～3月にアンケート実施予定。

以上

【記録：江良和徳】